



津軽広域連合 連合だより

〒036-8276

弘前市大字樋の口町 260-4

TEL 0172-39-7200

FAX 0172-39-7201

Eメール tugarukoik01@net.pref.aomori.jp

ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>

携帯電話用 <http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/p/index.htm>

平成16年11月 第15号 発行 / 津軽広域連合

つがる 観光 ラリー 中間賞 発表

お待ちかね、つがる観光ラリー中間賞の発表です。皆さん、おめでとうございます。

最終締切は平成17年1月31日です。ふるってご応募ください。

フレンドシップ賞【りんご(ふじ) 5kg 28名 11月下旬発送予定】

安東駿(横浜市)、関谷颯汰(北区)、日野修(横浜市)、須々田博子(豊中市)、泉本麻千子(芦屋市)、小松献一(大館市)、深井英夫(大館市)、駒井範子(名取市)、川口みちる(上福岡市)、佐々木孝穂(大館市)、赤平佐智子(昭和町)、三浦重義(大館市)、岩崎英史(京丹後市)、林みずほ(仙台市)、高橋旦(大垣市)、鳴海ひとみ(盛岡市)、清水セツ子(都城市)、佐々木淳(横浜市)、坂本隆(昭島市)、関谷好香(宇都宮市)、銭谷寿(秋田市)、竹森勝人(函館市)、相馬有子(福島市)、片岡トキ(大館市)、池田弘子(栗石町)、山口喜美枝(佐野市)、高橋恵(滝川市)、須々田和幸(世田谷区)

中間賞【津軽の地酒セット 1名】

金坂正光(黒石市)

【津軽の温泉入浴券 50名】

鳴海恒男(弘前市)、藤原寿子(十和田市)、木立由美子(黒石市)、加藤黄久子(黒石市)、湯田美佐子(仙台市)、吉川真知子(一関市)、片桐順二(弘前市)、木中政康(弘前市)、斉藤和

子(弘前市)、宮崎綾子(千葉市)、渋谷清(山形市)、野呂君子(藤崎町)、大下内キク(十和田市)、鈴木章良(仙台市)、藤森ヤエ(弘前市)、斉藤昇子(朝霞市)、森英子(弘前市)、米谷代志子(弘前市)、成田一也(岩木町)、太田尚吏(小泊村)、高橋律子(秋田市)、岩立美枝子(葛飾区)、高杉義文(弘前市)、中村暁子(金木町)、関谷茂(青森市)、長尾真爾(横浜市)、平田真理(青森市)、中山弘(尾上町)、水島広子(和田町)、宮澤せい子(佐倉市)、千葉キヌ(弘前市)、成田美子(木造町)、古川京子(世田谷区)、成田博文(日立市)、大山誠(八戸市)、瀬川平八郎(青森市)、工藤恵子(弘前市)、下田陽樹(府中市)、小笠原えり奈(弘前市)、斎藤一美(盛岡市)、青木辰弥(むつ市)、藤原美香子(千葉市)、成田優人(五所川原市)、倉坪芳子(弘前市)、工藤美緒(黒石市)、野田ちはる(七戸町)、村木孝三(小坂町)、小野優子(弘前市)、大高陽子(佐野市)、笹木孝司(弘前市)

ふるさと賞【ふるさと特産品 4名】

船橋彰子(朝霞市)、佐藤智子(盛岡市)、甲原尚子(豊中市)、晴山あけみ(むつ市) (敬称略)

講師探しなら「津軽の名人・達人バンク」

津軽広域連合総務課企画係 tel0172-39-7200

<http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/>

FMアップルウェーブ「毎日元気に！かがやき倶楽部」に「津軽の名人・達人」出演中です。

毎週土曜日 午前8時30分～45分 78.8MHz (FM)

名人・達人活躍日記

45 長内 幸子さん

「すこやか教室」(H16.7.21 板柳町公民館)

参加したお母さん「子育ての疑問に答えていただき、ほっとしました。親子で一緒になにかやることが、子供をほかの子と比べないこと、欲ばらず子供の良いところを伸ばしてやることをアドバイスしていただいたので、できるだけやってみようと思います。」



名人・達人活躍日記

12 高田 敏幸さん

106 相馬 孝さん

「ヨシで船づくりとカヌー体験」

(H16.8.10 岩木川こども自然体験学習会)

参加した小学生「沈みそうで怖かったけど、自分たちで作ったヨシ船に11人も乗れたので驚きました。カヌーはすいすい進んでもおもしろかったです。」

「ヨシで船を作ったのも川で遊んだのも初めてでした。夏休みで一番楽しかったです。」



わがまち案内人

構成 14 市町村選出の津軽広域懇談会委員が、
愛するまちの魅力を紹介します。(上)

【弘前市】…吉沢 隆治 委員

弘前のいいところは春は桜、夏はネブタ、秋は紅葉、冬は雪灯籠と四季を通じてお祭りがあるところです。また石坂洋次郎氏は「空は青く、リンゴは赤く、女たちは美しい国」と謳い上げています。若い時はあまり感じなかったのですがこの頃まさしくその通りだなと実感するようになりました。

弘前市は津軽 10 万石の城下町として、約 400 年の歴史を持つ町です。市内には、藩政時代から残されている弘前城跡をはじめ数多くの名所旧跡が残り、落ち着いたたたずまいを感じさせます。

反面保守的なところも見受けられます。そのためか PR するのが下手で弘前公園などは全国的でも超一流の観光資源ですがその売り出し方に工夫が必要ですね。

また観光客のアンケートで一番行きたい所は温泉だそうで、癒し効果のある温泉と旧所名跡、それに手付かずの大自然が最高のもてなしでしょう。それが弘前を含む津軽地方にあると思います。次の世代へ受け継がれるべき貴重な財産でしょう。

【黒石市】…福土 収蔵 委員

古い街並みに黒石よされ。「エチャホー、エチャホー」と掛け声いさましく踊りまくる 2 千人の踊り子たち。街なかには、3 つの酒蔵。水清い浅瀬石川には 2 つの水がめダムがある。そして温泉がいくつもある。人情あつましの里・黒石は津軽くらしい日本一の雪だるまを見せた協力、協調、団結がある。一度寝せた雪だるまを起こし、高さ 31.425m でみごと日本一。

ないものねだりだけでなく、ある資源を活かす。中野もみじ山雷山のカタクリの花の公開、伝承工芸館裏のホタルの里づくり、こけし館など、行政から離れた多くのボランティアが中心になり、行政が後押しをする。



【歴史あるこみせ】

理想の地域づくりである。他市町村にはない力が黒石にはある。私はそんな黒石が大好きである。津軽はひとつ、みんなでより良い津軽を築きましょう。

【平賀町】…小野 敬子 委員

平賀町のりんごは世界一おいしいって皆さんご存知ですか？日本一おいしいのだからそれは世界一。どうぞ平賀町のりんごをいっぱい召し上がって、お友達にも紹介してくださいね。

そして温泉がいっぱい。大きなところではホテルアップルランド。平賀町を知らない人でもアップルランドのある町なのねとよく言われる。国道 7 号線沿いにある道の駅、サンフェスタいしかわの弘前寄り少し手前から黒石へ向かうバイパスがあって平賀町に入るのだが、私はこの道を走るのが一番好きだ。

天気の良い日は、左に岩木山、右手の前方遠くに八甲田連邦を眺め、とてもどかな田園風景なのになぜか活気を感じるのが平賀町なのだ。少し足を伸ばして志賀坊高原へ登ると(車で)津軽平野の全景が体に迫る。素晴らしい風景を眺めながら、いろんな思いを持ってみんなこの地でくらしているんだなあって、思いを新たにすることが出来る。志賀坊高原の夜景も素敵だ。若い人も、年を重ねた人も、それぞれの思いでロマンチックなひと時を味わってみて下さい。

【浪岡町】…田中 洋子 委員

「冬のソナタ」の象徴的な場所、それはメタセコイヤの並木道。我が浪岡町にも、そんな並木道があったら、ユジンとチュンサンのように初雪デートが楽しめるのに。

それが、あったのです。浪岡湿生花園の中に。浪岡湿生花園は、道の駅アップルヒルの裏手、小高い丘を越えとすぐ。石ころの道を 2、3 分車で走ると、湿地を好む植物、スイレン、葦、蒲、水芭蕉、菖蒲等の群生が見え、ケヤキ、ヤマボウシ等の木々が生い茂る

森の中に入ります。その緑の真っ只中には釣り自由の大きな池があり、釣り人が釣り糸を垂れています。天の川と称する小川も清らかな水を運んで、静かな空間を作っています。そして、森の散策の究極地点に、桜並木があるのです。自然の美しさと穏やかな空気を提供しています。初雪デートを楽しんでみてはいかがでしょうか。



【冬ソナ風並木道】

【板柳町】…竹浪 均 委員

40代以上の方ならばご存知のビートルズのレコードのレーベル名。そしてアメリカのニューヨークシティーの愛称と言えば、もちろん“APPLE”そう“りんご”です。わが町板柳はりんごの町。町の約35%がりんご畑です。ですから四季の移り変わりをりんご樹の変化で感じることができます。

春は薄紅色の可憐な花。秋には真赤な実をたわわにつけたりんごの樹。そのずーっと奥にはいつも岩木山がどーんと立っている。これこそ板柳の景色です。

津軽藩政時代に十三湖から岩木川を遡上してきた船によって発展し、岩木川の東岸に巨大なイタヤと柳の両木があったので板（イタヤ）柳と名前がついたと言われています。小さな町ながら歴史的遺産が多く、南北朝時代から伝わる北畠家には珍しい白いタンポポが咲きます。

もし板柳町を訪ねる機会があれば「ふるさとセンター」へ。お勧めはアップルファイバー入のクッキーです。また、パソコンをお持ちの方、是非板柳町のホームページへアクセスしてみてください。そこであなたは、アップルワンダーランド＝板柳町に会えると思います。

【大鰐町】…坂本 府隆 委員

ネプタ発祥の地『大鰐町』今から約千百年も前の大昔、大鰐町のあじゃら山のふもとの三ツ目内地区と宿川原地区の間に悪魔王館（あくもうだて）という高い山があります。この山に陸奥蝦夷の大将悪鬼が住んでいたという言い伝えがあります。時の桓武天皇は坂上田村麿を征夷大將軍として陸奥に派遣することに

しました。耕作を嫌い、野山の鳥やけもの、魚や果実をとって暮らす蝦夷の人々と耕作地を広めようとする田村麿は戦いとなりました。戦いは長引きました。そこで田村麿は計略を立て、敵将悪鬼を平原におびき出し、それを捕える方法として考えたのがネプタです。

賑やかな笛、太鼓、かねの音が毎夜繰り返され、7日目に悪鬼を捕えることができたと言われています。そして降参したものは、穀物の種子と農具を与え、耕作の方法を授けて津軽に留めさせ、どうしても従わなかった悪鬼始め多数の者は外ヶ浜から松前（北海道）に島流しとしたのでした。

その時の詞がネプタ流しのせりふとなり、「倭武人流れる（心のネジケタ人は島流し）マメの葉口止まれ（忠義者は留まってよい）」という意味です。この合戦の場がわが町大鰐とされています。

【岩木町】…田澤 昭次郎 委員

岩木山のある町「岩木町」として県内外に知られている当町は、春夏秋冬、美しい姿を見せる岩木山と四季の彩りを楽しみ、自由な発想と創造力をはぐくんでいます。

その中で、特に私が良い町だと思っているのが生涯学習を含めた社会教育の充実です。学校教育環境の整備はもちろんですが、「生涯学習ができる町づくり」を目指した町民の意識づくりと多様な学習機会の提供を各種事業を通して展開しています。その一握りを紹介いたします。

私の特別に気に入っている国内外への子供たちの交流派遣事業ですが、国内では、姉妹都市北海道美瑛町、埼玉県坂戸市、沖縄県与那城町へ小中学生を派遣し、文化・物産・スポーツなどの交流が活発に行われています。

国外でも国際姉妹都市の米国オレゴン州ミルウォーキー市との中学生の交流が行われ、ホームステイにより一生涯忘れることができない体験をしています。



【ミルウォーキーの仲間と】

新任 津軽広域連合議会議員

平成16年9月22日、津軽広域連合議会議員に西目屋村から石田武勇氏が新たに選出されました。



介護認定審査会

- ・平成16年度介護認定審査会委員研修会を開催
- ・介護認定審査会ってなあに？
- ・平成16年度上半期 市町村別の審査判定状況

介護認定審査会委員研修会を開催しました

10月29日、弘前市文化センターにおいて、県高齢福祉保険課介護保険グループの相馬総括主幹、木村主事を講師に委員研修会を開催しました。

委員90名が参加した研修会はず、相馬総括主幹から介護保険制度の現状や課題・見直し、県内の実施状況などの説明がありました。介護保険制度は平成12年のスタートから5年目を迎え、高齢者人口や介護認定率、サービス利用率は年々高くなっています。制度の安定的運営や利用者が受ける「サービスの質」の向上などに向けての、介護予防の実施や介護給付の適正化などこれからの課題や見直しについて話されました。

続いて木村主事より、県内各圏域の審査会における判定困難事例が紹介されました。普段は目にすることが少ない事例もあり、参加した委員は判定困難とした理由、審査時に留意した事項、判定時の意見などに熱心に耳を傾けていました。

介護認定審査会ってなあに？

Q . どうして広域連合が審査会を開催するの？

A . 本来は市町村が設置する審査会を広域連合が一括して行っている理由はいくつかあります。1つ目は職員の人員低減です。現在、広域連合では7人の職員が審査会を担当しています。2つ目は審査会委員の確保です。14市町村から幅広く人材(医師などの専門家)を集め、人口規模が小さくなるほど困難である委員確保の問題を解消しています。3つ目は審査判定の公平性です。本来の保険者(市町村)から独立して審査判定されるため、公平性や中立性が保たれるのです。これらのように様々なメリットがあるため、広域連合が審査判定審査会を行っているのです。

市町村別の審査判定状況

(平成16年度上半期)

	弘前市	黒石市	平賀町	浪岡町	板柳町	大鰐町	岩木町	藤崎町	尾上町	田舎館村	常盤村	西目屋村	碓氷町	相馬村	介護別合計
非該当	66	6	11	3	17	1	1	1	4	1	0	4	2	3	120 (1.0)
要支援	1,578	104	253	143	201	63	76	56	57	27	39	11	20	23	2,651 (22.9)
要介護1	1,842	305	254	205	216	120	97	111	90	104	69	19	44	27	3,503 (30.2)
要介護2	802	165	130	74	102	76	68	42	43	36	30	12	18	20	1,618 (13.9)
要介護3	638	151	89	69	64	69	57	51	22	23	17	12	12	24	1,298 (11.2)
要介護4	574	126	84	68	51	53	58	39	32	36	24	14	17	9	1,185 (10.2)
要介護5	544	148	77	74	50	64	37	48	39	36	36	11	19	19	1,202 (10.4)
再調査	12	1	1	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	21 (0.2)
市町村別合計	6,056 (52.2)	1,006 (8.7)	899 (7.7)	637 (5.5)	705 (6.1)	446 (3.8)	394 (3.4)	348 (3.0)	288 (2.5)	264 (2.3)	215 (1.9)	83 (0.7)	132 (1.1)	125 (1.1)	11,598 (100.0)

単位は件、()内は%